とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1カ月200円　1カ年前納2,000円

小坂山開発で 三木首相と話し合い

町村参議に 堂内垣知事

七月二十六日に札幌市のパークホテルでひらいた自民党の政経文化パーテーに出席のために来道した三木総理大臣をかこんで足寄町の小坂山開発についての話し合いがおこなわれました。

これは小坂山開発にとりくんでいるハイランド株式会社と親しい自民党副幹事長でこの日のパーテーの責任者だった野呂恭一代議士（三重県選出）のキモ入りで実現したもので、三木首相の来道にタイミングを合せたハイランドの政治工作の一環とみられています。

はじめの町への連絡では前日の二十五日の午後六時からパークホテルでとのことで、小林町長と大滝議長にハイラドドから出席を求められたものの、両氏は都合で出席できず、町からは野呂副幹事長と町村金五参議とハイランドの鈴木泰一専務があつまっての話し合いとなりました。

翌二十六日のパークホテルでの一千六百名におよぶパーテーがおわってから、総理大臣を別室をとって、三木首相、町村参議、堂垣内知事、鈴木専務、前寺氏らとの懇談がおこわれましたが、小坂山の大規模な開発計画について三木首相は『当然国がやるべきだが、まだそこまでいっていない』と語り、三木氏が通産大臣当時につくった財団法人余暇開発センターには通産事務次官だった佐橋滋氏を理事長としておくり込んだことにふれて『佐橋君は怪物だからやるぞ』ともちあげ、足寄町とハイランドが余暇開発センターの構想と指導にもとずいて開発をすすめていることに関心をよせていました。

町村参議は上利別から小坂山への事情をよく知っていて『わが国の余暇行政はヨーロッパにくらべて十年も二十年も立ちおくれており、考えなければ』といえば、野呂副幹事長は『一千数もの大面積が農振地域の除外となったのは全国でも珍しいことで、これだけの容れものはほかにはないので活かしたい』とのことで、ぜと現地をみたいといっていました。

余暇開発センターとしては目下、沖縄海洋博後の跡地活用のための作業にとりくんでいるのでこのたびは参加できなかったそうですが、これを機会に小坂山の開発について道当局と密接な連絡をとりながらことをすすめることとなり、佐橋理事長も足寄町の現地を訪れるとのことです。

この会合は短時間でしたが、一国の総理大臣が秒きざみの日程をさいて一町村の観光開発のための会合にそうにないこうした会合に顔をみせて激励の形をとったのは、多様化した国民生活に対応する健全な大量長期滞在型観光地をめざして公的機関のリードによってしている東急だけにもつとも関心をもち、同社では近く小坂山の現地を調査することにしています。

西小の改築は難しい？

ラワン小投書の波紋

足寄町のラワン小学校統合校舎の設計に関する投書によって、会計検査院では七月一日に現地調査をおこなつた結果、建築工事そのものには支障はないとして問題化せず町当局をホッとさせているものの、投書がもたらせた影響は意外な波紋を画いているようです。

ラワン小学校の問題は五年も前に完成した工事であること、内容は一部の設計変更という専門的なことが時は問題にせずとしの町長選挙の直前になつてもち出されたことで、町の行政機関内部の乱れや議会内の対立による政争気運にラワン地域の住民は迷惑顔だつたし、このことによつて道や国の関係部局の不信を買つたのも事実です。

この問題が三月の最終議会に緊急動議として上程されて理事者追及となつたものの、文部省の連絡によつて道教委が調査中ということで〝不発〟におわつたことに関する投書によつて、会計検査院では七月一日に現地調査をおこなつた結果、建築工事そのものには支障はないとして問題化せず町当局をホッとさせているものの、投書がもたらせた影響は意外な波紋を画いているようです。

ラワン小学校の問題は五年も前に完成した工事であること、内容は一部の設計変更という専門的なことが時は問題にせずとしの町長選挙の直前になつてもち出されたことで、町の行政機関内部の乱れや議会内の対立による政争気運にラワン地域の住民は迷惑顔だつたし、このことによつて道や国の関係部局の不信を買つたのも事実です。

この問題が三月の最終議会に緊急動議として上程されて理事者追及となつたものの、文部省の連絡によつて道教委が調査中ということで〝不発〟におわつたことになるので、ラワン小のようにせつかく国から補助をうけて建てながら会計検査院へ投書をしてゴタゴタを引きおこすような町ではーと二の足をふむのではないかということで、西小と同じような危険校舎の補助申請が他にあつて競合すれば文部省としてはそちらでもあり、三千五百点以上は文部省が直接に取扱うのようにせつかく国から補助をうけて建てながら会計検査院へ投書をしてゴタゴタを引きおこすような町ではーと二の足をふむのではないかということで、西小と同じような危険校舎の補助申請が他にあつて競合すれば文部省としてはそちらでもあり、三千五百点以上は文部省が直接に取扱うことになるので、ラワン小学校を請負つた森下組としては設計どおりに完成させたのに、春いらいこの学校が問題にされるや森下組がなにか不正工事でもしたかのように、道関係工事入札の指名からはずされるというトバッチリをうけて迷惑をしていることです。

町最大の県案である西小学校の改築について道教委では『足寄はタイミングが悪い』と悲観的な見方をしているほどで、昨年の暮にどうにか危険校舎として三千五百点の判定をうけたものの、その点数以下の老朽危険校舎をかかえる町村がまだまだあるのでゞ狭き門を採択することになるのではないかといわれています。

どこへなにを投書しようが、議会でなにを論議しようが自由だとしても、それはあくまでも町民のためになることを前提にすべきでただ言いたい放題、やりたい放題では無責任な反町民的な言動にすぎないことになります。

暑中お見舞申し上げます
ファミリーランド グリーンパーク
足寄高原観光株式会社
取締役社長　五十里信雄
取締役専務　長田　栄
取締役常務　水野源次郎
代表監査役　新津　幸助
調理主任　伊東　孝夫
ほか役員、従業員一同
足寄町里見ガ丘公園
T　三一七五
T　三一七六

メノウや金鉱石の
銘石浴場完成！
お家族お揃いでお出かけ下さいお待ちいたしております。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊙久保呉服店
足寄町　T二一四八

暑中お見舞申し上げます
足寄町
町長　小林弘道
助役　富田秋雄
収入役　鷲岡憲雄
総務課長　木村重雄
企画課長　山本豊吉
税務課長　山岡信一
民生課長　松平京
農政課長　原守郎
林務課長　品川昭夫
商工観光課長　土田三郎
建設課長　丸谷彰
水道課長　小泉鶴夫
芽登支所長　野中男
大規模草地育成牧場長　石井竹格

足寄町議会
議長　大滝弥助
副議長　大久保繁
総務委員長　吉田吉之助
産業経済委員長　神本三也
建設委員長　高橋募
文教厚生委員長　阿部俊夫
議会運営委員長　香川博彦
事務局長　猪狩豊成

足寄町教育委員会
委員長　新津幸助
職務代理　前谷信正
委員　新妻幸雄
同　新海文雄
教育長　谷忠光
同次長　別宮進
足寄町社会教育委員会　委員長　鷲岡俊昭
足寄町公民館運営審議会　会長　神本三家雄
足寄町スポーツ振興審議会　会長　安久津義人
十勝オンネトー青年の家組合長　小林弘道
同　所長　斉藤恒次郎
足寄町学校給食センター　所長　喜外一男

足寄町選挙管理委員会
委員長　鷲岡俊昭

足寄町監査委員会
代表監査委員　森西勝夫
監査委員　香川博彦

足寄町農業委員会
会長　清水秀雄
会長代理　畠正吉
事務局長　大塚昭二

足寄町国民健康保険病院
院長　加賀谷秀夫
事務長　横山三郎
同次長　野津伸司

足寄町社会福祉協議会
会長　三宅隆義
副会長　神本三家雄
同　大塚正夫
共同募金会足寄分会長　長田栄
足寄町遺族会長　春日井勇
足寄町母子会長　桂さよ子
身障会足寄町分会長　阿部俊夫
日本赤十社足寄分会長　小林弘道
本別保護司会足寄分区会長　近藤悦朗
足寄町老人クラブ連合会長　藤村与作
足寄町民生委員協議会総務　三宅隆義
事務局長　松平京
同次長　藤村淳

足寄町衛生組合連合会
会長　三宅隆義